



2025年 12月301号

ふるさと



グループホームあじさい園

長年、晃宝会の外部評価機関としてご指導をいただいているNネットO先生の「尊厳を守る」とは」の解説①～④がNネット通信に掲載されていきましたので、共有させていただきます。

①「利用者の生活歴、価値観や生活習慣、生きがいなどの把握」
介護は、利用者を守ることから始まります。医療面や身体面のアセスメントだけでなく、どのような環境で、どのような人生を歩んできたか、何を生きがいに暮らしていたかなどを把握することが尊厳を守る第一歩です。入居前だけでなく、グループホームでの生活の中で利用者から聞きとり、記録して職員で共有し、介護に役立ててほしいと思います。

②「自己決定の尊重」

外部評価で「利用者からの思いや意向の表明があまりない」と聞くことがあります。利用者の思いや意向を意識的に引き出したり、自己決定をする機会を日常的に作り出したりすることも介護の大切な仕事だと思っています。

③「残存能力の活用」

利用者ができることは、時間がかかっても、してもらいましょう。利用者が残存能力を発揮してもらえ環境の整備も必要です。生活リハビリの観点から、食事の時は車椅子の方も普通の椅子に座りかえてほしいものです。最近では、残存能力の保持だけでなく、積極的に運動し筋力をつけ、健康寿命を延ばす考え方が主流になっています。

④「利用者の社会とのかかわり」

家族との交流だけでなく、エコマップを作って社会資源を把握し、社会との交流の場を創り出しましょう。また、お出掛けする機会をつくり、記録して計画的な外出支援に繋げてほしい。買い物に出かけたり、外食をしたり、たまには花見に出かけたりしたいものです。

最後に、利用者の「尊厳を守る」ことは、事業所での生活すべての支援にかかわってきます。もし、利用者個々の尊厳を守る上で解決すべき課題があれば、ケアプランに盛り込んで実施し、利用者がよりその人らしく生きていけるよう、支援してほしいと思います。

「これからずっと守っていききたいご利用者おひとりおひとりの尊厳」について、専門職として常に寄り添い考え続けたい、とあらためて、気持ちが引き締まりました。

12月の行事予定

10日(水) 誕生日会

17日(水) 忘年会

22日(月) クリスマス会

※塩田医師の定期往診もあります。

あじさい園のホームページもご覧ください。



秋祭り開催!

今年も祭りの季節がやって参りました!

様々なミニゲームを楽しまれた後は屋台のたこ焼

でチョット一休み♪

フワフワわたあめも堪能しました!

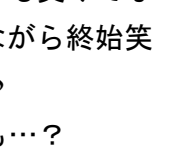
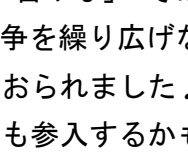
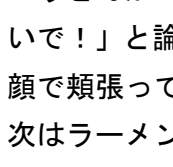
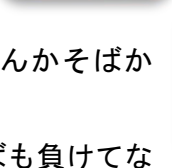
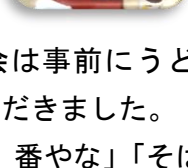
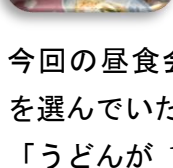


うどん or そば お好みは?

今回の昼食会は事前にうどんかそばかを選んでいただきました。

「うどんが1番やな」「そばも負けてないで!」と論争を繰り広げながら終始笑顔で頬張っておられました♪

次はラーメンも参入するかも…?



カフェあいで男子会

